

職員による自己評価

A環境面

賃貸物件を使用している為、段差や階段をなくす事は出来ないが、全面にカーペットを敷いたりしている。(滑り止め、防音効果)
騒音を極力減らす様、室内活動は時間で区切って行うように心掛けている。

B児童への支援内容

個々に合わせたサービス内容、プログラムを提供している。

C関係機関との連携

定期的にモニタリング会議を行う等し、情報共有し支援の改善に努めている。

D保護者への説明責任・信頼関係

送迎時、連絡帳、メールや電話等、小さな事でもやり取りをする様に心掛けている

E非常対応

年に1度、避難訓練を行っている。
各マニュアルに関しては、全ていつでも閲覧可能な場所に設置している。

保護者による評価

A環境面

②③において「どちらともいえない」があり
③についてはスロープやバリアフリー化の配慮についてであった。

B児童への支援内容

活動に関して、障害のない子供と接するかに
おいて「どちらともいえない」や「いいえ」が目立った。

C事業所からの情報発信

父母の会の活動において「どちらともいえない」や「いいえ」がほとんどだった。

D非常対応

マニュアルの設置や避難訓練について「どちらともいえない」が3件あった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・全てに関して「今のままで良い」というご意見が多く安心してご利用頂けている点

【相違点】

- ・連絡帳アプリを導入してみて、タイムリーな子供の様子が知りたいというご意見。
- ・オヤツに関して、国産で糖質控えめ、無添加や季節のフルーツを取り入れてみてはというご意見。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・支援級と養護（2チーム）に分ける事により個々への対応がしやすくなり、支援がしっかり行き届いていること。
- ・チームを分ける事で、少人数となり空間に余裕ができ、ケガやトラブルも発生していない点。
- ・活動内容もしっかりと発達支援、学習支援と対応できている。課題は定期的に見直しを行い、個々の成長に合わせた新しい物を提案できる点。

事業所の改善点

- ・連絡帳のアプリ導入
- ・オヤツについての細かな配慮

事業所の改善への取り組み

- ・連絡帳は今のところ、紙ベースから変更する予定はない為、普段から写真をお見せする様にしたり、面談時に今やっている課題を実物で紹介したりする様にした。
- ・オヤツに関しては、できる限りご希望の物に合わせた内容で提供していくこととした。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

評価表は毎年同じ内容だが、コミュニケーションがとれてくると、皆様がキッズタウンかじやまをよく理解して頂いている事が分かる様になった。

そのお気持ちに応えるべく、山を見るのではなく木を見る様に、子供一人一人に向き合った支援をしていきたいと思う。そして、常にイレギュラーに対応できる様、スタッフ各々がレベルアップの努力をする様、サポートをしていきたいと感じた。

事業所名 キッズタウンかじやま

担当者 安井 優子